

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2017年7月23日聖日第2礼拝

---

聖日第2礼拝

「神の恵みが現れて」

テトスへの手紙

2章9節～15節

梅田登志枝牧師

# 聖書朗読

## 新約聖書

テトスへの手紙

2章9節～15節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会)を使用しています

第二版の聖書は 385 ページ

第三版の聖書は 420 ページ

9 奴隸には、すべての点で自分の主人に従って、満足を与え、口答えせず、

10 盗みをせず、努めて真実を表すように勧めなさい。それは、彼らがあらゆることで、私たちの救い主である神の教えを飾るようになるためです。

11 というのは、すべての人を救う神の恵みが現れ、

12 私たちに、不敬虔とこの世の欲とを捨て、この時代にあって、慎み深く、正しく、敬虔に生活し、

13 祝福された望み、すなわち、大いなる神であり私たちの救い主であるキリスト・イエスの栄光ある現れを待ち望むようにと教えさとしたからです。

- 14 キリストが私たちのためにご自身をささげられたのは、私たちをすべての不法から贖い出し、良いわざに熱心なご自分の民を、ご自分のためにきよめるためでした。
- 15 あなたは、これらのことを十分な権威をもって話し、勧め、また、責めなさい。だれにも軽んじられてはいけません。

# 説教

聖日第2礼拝

「神の恵みが現れて」

テトスへの手紙

2章9節～15節

梅田登志枝牧師

信仰者は、ゴールに向けてどのように進むべきか？  
テトスへの手紙は伝道者パウロが、地中海のクレテ島にある教会を牧会するテトスに書き送った手紙



- ・ クリスマンとしての使命とは  
( 10節後半 )

信仰者の使命は、  
「 神様の教えを飾ること 」



・ クリスマスはどのように  
神の教えを飾る生き方ができるのか  
( 11 ~ 13 節 )

A . 神の恵みは現れた ( 11 節 ) ~ 過去の的に

B . 神を愛して生きる ( 12 節 ) ~ 現在の的に

C . 再臨のキリストを待ち望む ( 13 節 )  
~ 将来的的に

## 結論 .

信仰者がそれぞれの立場で、神様の教えを飾るという使命を果たすことを心して歩む時、神様は必ず個人を、家庭を、教会を祝してくださる。

なぜならそのための恵みは、すでに神様ご自身が備えておられる。